

御代田フットパスについて

ここ御代田町は、変化に富んだ地形や山・森林・水辺、豊かな田畑、古くからの街道・集落など、豊かな風景に恵まれています。

けれども普段は車の移動で通過するだけという人が多いのではないのでしょうか。

また、景色の良さそうなところを見かけて、ちょっと歩いて体を動かしたいと思っても、どこに駐車してどのルートを歩けば良いのかはなかなか分からないものです。

わたしたち「長野県建築士会 佐久支部 青年女性委員会」では、そのような御代田町で「フットパス」を実現したいと今年度から活動しています。

「フットパス」とは、イギリス発祥の仕組みで、森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のことです。

フットパスのある地域では、推奨コースや駐車場などの必要な情報が載った地図があり、訪れた人はその地図を手に歩いて、地元ならではの風景を楽しみます。

活動のなかで町内を実際に散策してみるなか、湯川沿いの豊昇・面替地区の変化に富んだ風景や興味深い歴史の奥深さに魅了され、今年度はこのエリアで、御代田フットパスの最初のコースを実現したいということになりました。

わたしたちはフットパスの活動目的として、次のようなことを目指しています。

- 自分たちの地域の風土の魅力を再発見し、掘り下げる
- 長い歴史の中の先人たちの暮らしの営みや住まい方に学ぶ
- 観光地化するのではなく、ありのままの自然・田園風景の良さを町内外・県内外の人に伝え、実際に訪れて感じてもらう
- 地域の魅力をあらためて見直すことで、これからの地域づくりについて考える

今後は、夏までに地図の編集――歩くコースや、コース上の駐車可能場所、トイレ、見どころ、注意事項などの情報整理――、秋までにコースの清掃や歩く人の目印作り、地図の発行・配布を行い、紅葉の時期に、コース開きとして皆で歩くイベントを計画しています。

地域のみなさまには、その都度お声がけさせていただきますので、ぜひご理解とご興味を賜り、活動にご参加いただければ幸いです。

